

五穀豊穡・無病息災の願いを込めて 岩戸寺で修正鬼会

2月24日(土)に国東町の岩戸寺(上田大祐住職)で「修正鬼会」(国指定重要無形民俗文化財)が行われました。

修正鬼会は、六郷満山の開祖と伝えられる仁聞菩薩が、五穀豊穡と無病息災の願いをかけて大法要を行ったのが始まりとされています。成仏寺(旧暦1月5日)と岩戸寺(旧暦1月7日)で隔年交代に行われる正月はじめの一大行事は、鬼が松明を振りかざしながら踊り舞い、その松明でたたいてもらうとご利益があるといわれています。鬼会の鬼は追い払われる鬼ではなく、家々を加持祈祷し福をもたらす招福の鬼として、昔から里人の生活や心に溶け込んでいます。



▲2匹の荒鬼とタイレシが2組に分かれて、地区内の家々を訪れ祈願。各家々では、酒や手料理などで鬼たちをもてなします(岩戸寺・井上桂二さん宅)



▲長さ約6メートルの大松明(おおだい)4本に次々と火をつけ、勇ましい掛け声とともに参道に立てました



▲荒鬼(災払い鬼・鎮鬼)が登場し、松明で頭や肩をたたきこの1年間の五穀豊穡・無病息災・家内安全などを祈願しました



◀「垢離(こうり)取り」トシノカンジョウを先頭に、タイレシ(鬼の介添え役)が山門下の滝つぼにふんどし一枚で水の中に飛び込み、身を清めます

文化の祭典 武蔵カルティバル2007開催

市民の皆さんに、文化を身近なもの感じてもらうと2月24日(土)・25日(日)の2日間、武蔵セントラルホールで「武蔵カルティバル2007」が開催されました。24日は玄海竜二一座の公演、25日には子ども会や公民館教室の発表会や三遊亭夢之助さんの講演会が行われました。また、期間中は公民館教室等による書道・花・手芸・絵画等の作品展示も行われ、多くの人でにぎわいました。



太極拳



内田太鼓保存会



むさし幼稚園・合奏



ギター教室